

香川県教育施策推進協議会第3回会議（書面開催）における主な意見等

No.	頁	項目等	意見等（要旨）
1	8	(3) Society5.0の到来と持続可能な社会づくり 用語解説	・「イノベーション」の用語解説を、よりわかりやすく変更してほしい。
2	30	基本理念	・グローバル化という語句があるので、どこにいても世界的視野を持って自分のできることを確実にやっていくイメージで「国際化」についての記述があればと思う。
3	30	基本理念 下から9・10行目 「どこで生きようとも、」	・「どこで生きようとも」の標記は不要ではないか。
4	31	重点項目	・7つの重点項目それぞれに、基本的方向と取組みの内容の項目を一覧にして示してはどうか。
5	32 33	重点項目1 学力の育成 ■主な指標 重点項目2 心の育成 ■主な指標	・この二つの指標には、相関関係があるのではないか。子どもの発達段階に応じて分かる授業を、目標値として80%を目指してほしい。
6	33 70	重点項目2 心の育成 2-1-④-(2)人権についての理解と認識の深化	・性に関する問題は、体だけの問題、健康課題ではない。 ・教育活動全体を通じた「性に関する指導」の重要性の認識が必要。 ・2「心の育成」の取組み内容④の「人権・同和教育の推進」の現状と課題のなかで、性に関する指導に言及し、主な施策2-1-④-(2)人権についての理解と認識の深化～の中で、「LGBT等」を「LGBT等性に関する課題」としてはどうか。
7	33	重点項目2 心の育成 ■基本的方向 豊かな心、多様性を尊重する心の育成 「教育活動全体を通じて、同和問題をはじめ外国人やLGBT等の人権課題の学習」	・同和問題の次に、外国人に言及する前に「障害のある人」を入れてほしい。 ・「障害者」という標記について、「障害のある人」が適当ではないか。
8	33	重点項目2 心の育成 ■主な指標 ※64p 同様の意見あり	・令和7年度の目標値が低すぎるのではないか

No.	頁	項目等	意見等（要旨）
9	34	重点項目3 体の育成 ■課題 二つ目の○ 「インターネットの過度な利用による視力低下や性に関する問題、災害・事故発生時における心のケアなど多様化する健康課題に子どもたちは直面しています」	・性に関する問題は、「インターネットの過度な利用に起因する」とも読み取れる。ネット社会以前の課題がある。
10	39	重点項目6 家庭や地域での学びの環境づくり ■主な指標	・現状の「25回」がいつの数字なのかわかりにくく、「令和7年度の目標75回」が、7年度までに75回か、年間で75回が目標なのかがわかりづらい。
11	44	1-1-① 確かな学力の育成 現状と課題	・「身に付けさせるとともに… 「学ばせることが…など 「させる」という言葉が気になる。 ・最後の○は、国家と社会の形成者となることだけをめざしているかのような印象を受ける。
12	45 49 103	1-1-①-(2) 児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の充実 1-1-③-(2) 情報活用能力の育成 5-2-①-(1) 教育センターにおける教員研修の充実	・授業を学習テーマごとに映像でストックし、振り返り学習等に生かすことができないか。
13	47	1-1-② 読解力の育成	・読書のできる環境づくりを計画的に進めてほしい。
14	47 67 119	1-1-②-(2) 学校における読書活動の推進 2-1-③-(4) 学校における読書活動の推進【再掲】 6-2-①-(3) 〃	・学校図書館における人材について、ここにもボランティア等の配置について記載してはどうか。図書館に行けば誰かがいる状態が、より本を身近にしてくれると思う。
15	47	1-1-②-(1) 言語能力の育成 一つ目の○ 「～各教科の教育活動の中で、言語に関する関心と理解を深め、～」	・幼児期からの対話や会話の中で、聞くことの大切さや喜びと共に“言ってよかった、話せてうれしい”などの表現の楽しさ、快さを味わえることが大切である。
16	49	1-1-③ ICTを活用した教育の推進	・授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合を指標としているが、それによってどう変わるのか（良くなるのか）。

No.	頁	項目等	意見等（要旨）
17	53	1-1-⑤ 幼児期の教育の推進 現状と課題 2つ目の○ 「ほとんどの幼稚園において～」	・このページの「幼稚園」は、幼稚園（子ども園等を含む）の表現にしてほしい。
18	56	1-1-⑥ 特別支援教育の推進 数値目標	・第3期計画の数値目標との相違点、次期計画の目標設定が低いのはなぜか。
19	61	2-1-① 道徳教育の充実	・道徳教育において、社会生活・コミュニケーションに必要な技術としての「マナー」の教育に力を入れてはどうか。
20	62	2-1-① 道徳教育の充実	・あらゆる「いのち」をいただいて自分がいまあることへの感謝の心を育む「食育」について、盛り込めないか。
21	63	2-1-② 自己肯定感・自己有用感の育成	・「自己肯定感」とは、について。「～自分自身に自信をもつこと」よりは、「自らの価値や存在意義を肯定できる」というように言い換えられないか。
22	63	2-1-② 自己肯定感・自己有用感の育成 現状と課題 最終行 「自己肯定感・自己有用感が低く・・・」	・親子の質の良いコミュニケーションを促すもの・機会が、もう少しあるといいと思う。 ・香川県の子どもは、自己肯定感、自己有用感が全国に比べ低いところが気になっている。
23	63 109	2-1-② 自己肯定感・自己有用感の育成 5-3-①-(1) 連携・協働の推進	・社会では、適材適所で色々な性格や技能が必要とされることを教える必要がある。 民間の経営者や芸術家、文化人など幅広い人の講話を取り入れてみてはどうか。
24	64	2-1-② 自己肯定感・自己有用感の育成 数値目標 ※33p 同様の意見あり	・目標設定を高くできないか。
25	72	2-2-① いじめや暴力の未然防止	・加害者・被害者、その両方の保護者へのサポート、ケアの必要性を記載できないか。いじめの背景には、家庭での問題もあると思う。
26	72	2-2-① いじめや暴力の未然防止 数値目標	・目標設定が、現状維持では低いと思う。
27	74	2-2-② 不登校児童生徒への支援 数値目標	・85%（数値目標）を目指してほしい。
28	76	2-2-③ インターネットの適正利用とネット・ゲーム依存予防対策の推進	・ネットゲーム依存予防対策については、親子関係の構築が先であることを記載できないか。

No.	頁	項目等	意見等（要旨）
29	93	4-2-② 課題解決能力の育成	・課題解決型学習の推進に関して、取り組みが常日頃の教育の現場にもフィードバックできる仕組みがあると良い。
30	106	5-2-② 学校における働き方改革の推進	・学力に合わせたクラス編成にした方が教員の負荷も軽減し、学生の理解に見合った学習が出来、落ちこぼれも減るのではないか。
31	113	6-1-① 家庭の教育力の向上 現状と課題 3つ目の○	・「の乱れが、」の表記は、このままでは、意味がよく分からない。
32	114	6-1-①家庭の教育力の向上 用語解説	・「さぬきっ子安全安心ネット指導員」の用語解説を修正してはどうか
33	129	数値目標 令和7年度の目標	・2桁以上の目標値の場合において、少数以下の数値や1桁目の数字が様々に設定されている。特に明確な理由がないのであれば、少数以下をなくし「5」「0」の端数が分かりやすいと考える。